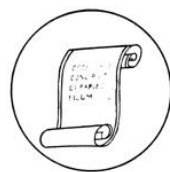


ひかり

2022年11月号



Advent

日本聖公会 三光教会

第708号

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

「あなたがたも用意していなさい。人の子は
思いがけない時に来るからである。」

(マタイによる福音書：24. 44)

希望なき現実に希望する

執事

ヤコブ萩原

おぎわら みつる

充

教会の暦も一年の「終わり」に近づき、「終わり」世の終わり、そして個人としての終わりである死を思い巡らすときが与えられています。わたしたちはどのような希望を神に置いているのでしょうか。それは同時に、自分はいま神とどのような関わりをもっているのか、一方的に自分の願いごとを神に伝えるだけの関わりなのか、あるいは死後の安寧を祈るだけの関わりなのかと問うことでもあります。

キリスト教における「復活」

とは、死後この世に戻って生き直すことでもなく、この世のいのちの延長線上にあるものでもありません。「復活」はこの世のありさまとは全く違う次元であり、神のいのちに新しく生かされることを意味します。「復活」は元の命を取り戻す「生き返り」でも「蘇生」でもないのです。キリスト教

における復活信仰の重要な点は、「主イエスは生きています、今私たちとともにいる」というリアリティを言おうとしています。今ともに生きているイエスは確かに十字架にかけられて死んだのだから、何らかのかたちで死の状態から立ち上がった、復活したと言わざるを得ません。

聖書は、主イエスが墓から立ち上がる様子そのものは描写をしていません。墓が空であったこと、そして主イエスと弟子たちが食事をしたことが記されていますが、それは復活したイエスが確かに弟子たちとともにいるという様子を伝えている。よく「死んだ人はわたしたちの心のなかにいる」と表現されるような、心のなかに蘇るという内的な体験以上に、リアルに、今ともに生きている。弟子たちの生き方に大きな影響を与えている。新しい仕方、この世において関わりを持つということ、福音書は伝えているといえるでしょう。すなわち一度出会った主イエスとの関係は、十字架で殺された後も終わらなかったという事です。生きている者の神というのは、わたしたちの生き

る日常と関わりを持つ神なのであります。日曜日に教会で、礼拝を通してだけ会う神ならば、それは死んだ者の神といってもよいのかもしれません。

主イエスは貧しい人、苦しむ人とともに生きました。彼らの苦しみ、そして希望はイエスのものでもありました。ですから主イエスの抱いていた希望というのは、死後どうなるのかということではなかったのです。いわば希望なき現実に希望する。神学者のパウル・ティリツヒは「絶望のなかに希望が浸透する」といいましたが、神を信じれば、クリスチャンになれば、絶望が希望へと瞬時に転換するわけではない。いま旧統一協会のことで宗教に対する疑いが強くなっており、改めて宗教とは何かが問われています。宗教とは、献金すればすぐに救われるというようなものではありません。絶望の状況はそのままかもしれない。しかし、この現実に耐えうる力が、「いま神とともにいます」ということが、わたしたちのうちに染み入ってくる。それがわたしたちの希望といえるのではないのでしょうか。

11月・12月の予定

◆11月

20日(日) 降臨節前主日
22日(火) 殉教者おとめセシリヤ
23日(水) 殉教者主教ローマのクレメント
27日(日) 降臨節第1主日
30日(水) 使徒聖アンデレ日

◆12月

2日(金) 日本聖公会初代主教ウィリアムズ
3日(土) アジアの殉教者とフランシスコ・ザビエル
4日(日) 降臨節第2主日
5日(月) 12月逝き者記念礼拝
司祭教会博士アレキサンドリアのクレメンヌ

6日(火) 主教ニコラス
7日(水) 主教教会博士アンブロシウス
11日(日) 降臨節第3主日
13日(火) 殉教者おとめルシヤ
14日(水) 冬期聖職按手節
16日(金) 冬期聖職按手節
17日(土) 冬期聖職按手節
18日(日) 降臨節第4主日
21日(水) 使徒聖トマス日
24日(土) 降臨日前夕(クリスマス・イヴ) 降誕日
26日(月) 最初の殉教者聖ステパノ日
27日(火) 福音記者使徒聖ヨハネ日
28日(水) 聖なる幼子の日
29日(木) 主教トマス・ベケット

執事按手を受けて

執事 ウィリアムズ藤田誠

三光教会のみなさま、いつもお祈りのうちに私をお支えくださいますこと、心より感謝申し上げます。2015年の夏に聖職志願について当時の牧師であった神崎和子司祭に相談させて頂いてから約7年が経過しました。この間、三光教会のみなさまに推薦して頂いて、三光教会での見守り期間を過ぎ、その後、聖公会神学院へ進み、卒業後、聖職候補生として目白聖公会へ高橋宏幸主教より派遣されました。そして、2022年10月1日に聖アンデレ主教座聖堂にて執事按手の恵みに与かりました。

なぜ、聖職志願を考えたかと申しますと、社会で生きづらさを感じている人々へ教会の働きを通してイエス・キリストと出会うお手伝いができればと思ったからです。私は社会人としては主に飲食業に従事していましたが、職場の雰囲気は体育会系で馴染むのに苦労しました。自分自身がそれに

馴染むだけならよかったのですが、職場の後輩へそのことを伝道する風潮が私をさらに苦しめました。

そんなあるとき、教会へ通うようになり、そこで、あるがままの自分を大切にしてくれた人々と出会うのでした。そのことは、私にとつて救いでした。そして、素の自分自身を受け入れられた私は、そこから自分自身の貧しさと向き合えるようになっていったように思います。そのとき、十字架の主イエス・キリストはおられました。私の貧しさを引き受けてくださいました。それは、同時に自分自身の悔い改めを促す働きを私のなかを起こしました。できているか否かは別として、神さまの望まれた「人を大切する」ということを自分の心に刻みながら日常生活を送るようになったのかなと今、思っています。ここまで私が述べましたことは、私にとって神さまが与えてくださった「時」なのだと思います。教会へ連なるみなさまは、それぞれが感じる恵みの「時」として、神さまが与えてくださる「時」があるように思います。その「時」の場面はさまざまだと思います。



いますが、その場にご一緒させて頂けるような執事として、その務めを私が果たせますようにと祈り。また、聖職とは希望を見出しづらい状況のなかで神さまがイエスさまを通して知らせてくださった福音の希望をみなさんへお伝えする働きだと思うので、そのような働きを私が行なえるようにと祈ります。

最後に三光教会のみなさまの日々の生活が主のみ守りの内にありますように祈ります。

くたばれ Covid-19

西山 春生

主日早朝、家の前にあるバス停で始発のバスを待つ。人も車も見ない。空気は清々しく、心地良い。誰もいない。独りぼっち。

なのに、私はマスクをつけている。はずしてもいいのに、はずさない。『何故?』

そんな日々が延々と続いている。『平和の挨拶を交わしましょう』目と目で挨拶。ニコツとして。

殺菌消毒でキラキラ濡れた手の平に、『主イエス・キリストの体』。

『主イエス・キリストの血』は、おあずけ。

そして、静かに、早めに、教会を後にする。

これはこれで仕方がない。誰れもコロナウイルスに負けたくない。土曜日、聖堂のお掃除をしながらつくづく思う。掃除機に溜るゴミが減った。忘れ物や落とし物が少なくなった。コロナのおかげ!! 笑っちゃうのが、コロナ肥り真っ盛りの私。

外出がままならない日々。日課の長距離ウォーキングを自粛し、友人やネット情報でゲットした料

理を片っ端から作ってみる。そして食べる。これ最高。

さてさて、

ともかく、私は、今日も明日も、

その次の日も、マスクをつけて、

進んで行かねばならない。

公 示

日本聖公会東京教区三光教会の2023年度教会委員の選挙を日本聖公会法規に従って実施いたします。

救主降生2022年11月6日 聖霊降臨後第22主日

日本聖公会東京教区 三光教会

牧師 司祭 アモス 金 大原

記

1 投票方法

(1) 所定の「投票用紙」を用いてください。

(2) 教会委員として投票したい方を10名（10名以内で可）の氏名を投票用紙の枠内に記入してください。

(3) 教会内に設置された投票箱へ投票してください。牧師宛て郵送も可能です。

(4) 投票は無記名です。

2 選挙期間

2022年11月6日(日)～2022年12月4日(日)

開票は12月4日(日)降臨節第2主日聖餐式Ⅱの後の行ないます。

※郵送の場合は12月2日金必着にてお願いいたします。

選挙管理委員は次の方を任命します。

伊藤和彦、大川由美子、大越伸二

なお、教会委員は当選された10名と、その10名が推薦した5名の計15名で構成されます。また、前年の教会委員のうち、直近の継続期間のより長い人（同期間の場合は通算在任期間の長い人）3人を非選挙人名簿からはずします。ただし、この3人の被選挙権は翌年度には回復されます。今年度は上記の規定に伊藤和彦、大川由美子、大越伸二の3氏が該当します、

堅信受領者 各位

三光教会 選挙管理委員会

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前 2 時から 1 時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者が案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願
午前 7:30 聖餐式
午前 9:00 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、
毎朝 6:30 の早祷に引き続いて聖餐式

日本聖公会 三光教会 教会報「ひかり」 2022 年 11 月号 (第 708 号)
発行者：司祭 金 大原 編集・印刷：三光教会広報委員会